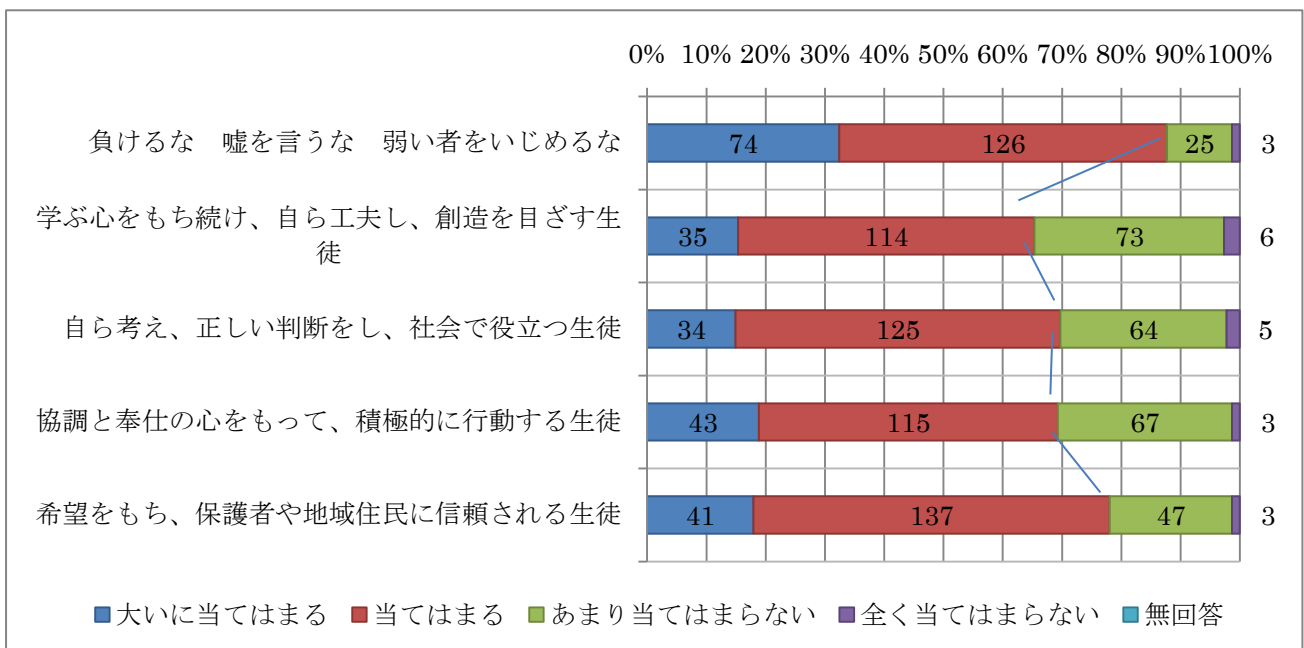


平成23年度 学校評価アンケート結果

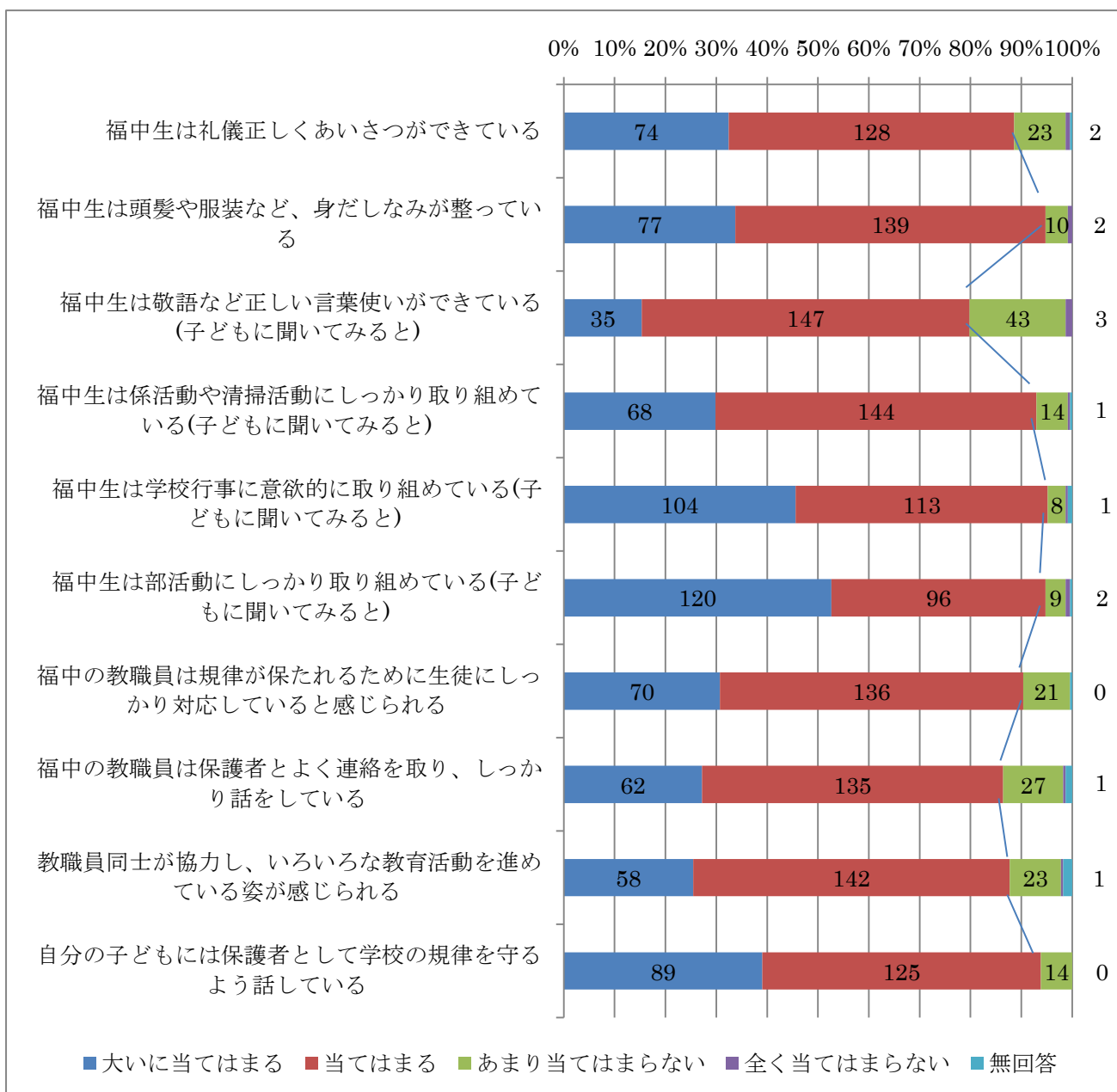
学校アンケートでは、多くの貴重なご意見を頂きありがとうございました。一つ一つ丁寧に検討させていただき、改善できるところは即実施させていただくことをお約束いたします。今後とも福地中学校の教育活動にご理解とご協力を賜りますよう宜しくお願いいたします。

I 目ざす生徒像について



- ・「負けるな 嘘を言うな 弱い者をいじめるな」という福地中学校の生徒像は、よく認識され、定着が図られているとしている。(88%)
- ・「学ぶ心を持ち続け、自ら工夫し、創造を目ざす生徒」(35%)、「自ら考え、正しい判断をし、社会で役立つ生徒」(30%)、「協調と奉仕の心をもって、積極的に行動する生徒」(31%)、「希望をもち、保護者や地域住民に信頼される生徒」(22%)が「当てはまらない」と答えている。
- ・自由記述の意見の中には、「明るく優しく」「自分の考えをしっかりもち」「人の痛みの分かる」「人の役に立つ」「奉仕活動に積極的に」「言葉遣いが大切」「感謝の気持ちを忘れないで」というキーワードがたくさん含まれていた。
- ・「楽しく学校に通っている」「子どもが先生を信頼している」「積極的な行動がとれるようになった」「地域の人に話しかけたり、挨拶ができたりするようになった」「上級生は下級生を思いやり、下級生は上級生を尊敬している」「生徒が帰った後に教室を掃除する先生を見かけます。素晴らしいことだと思います」というプラスの評価が多く見られた。

II 学校生活について

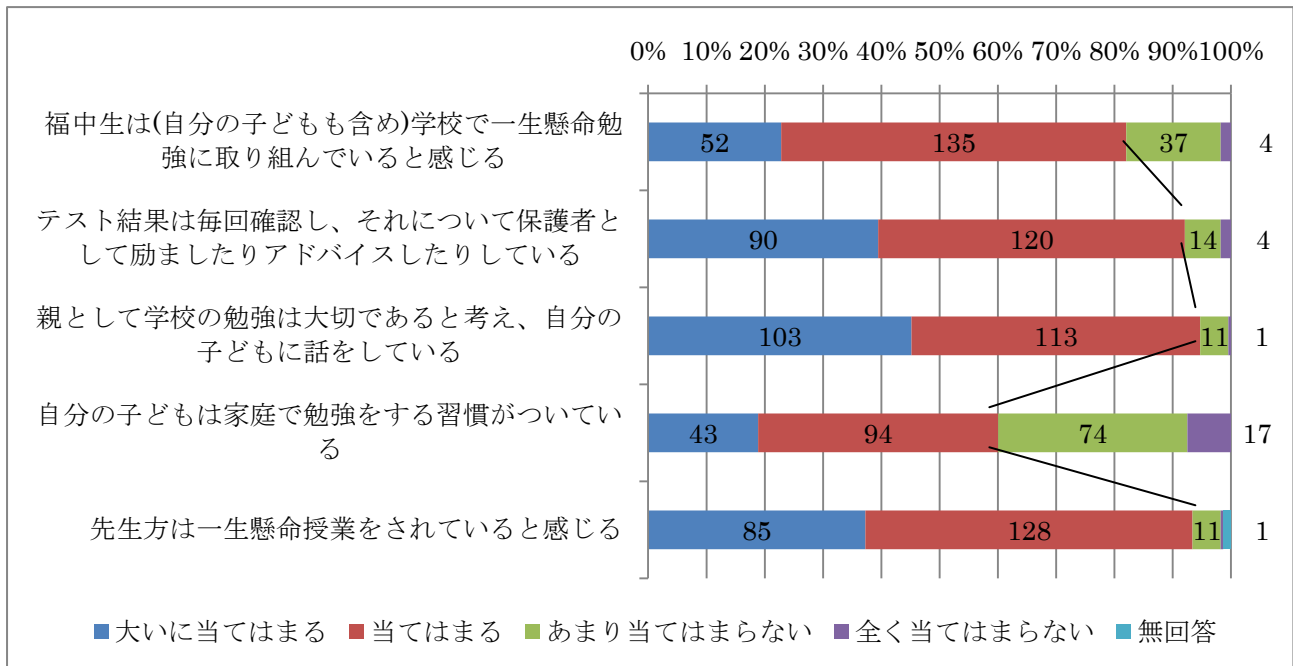


・学校生活については、どの項目も8割を超えて「あてはまる」としている。しかし、その中でも「礼儀正しくあいさつができています」「敬語など正しい言葉遣いができています」という項目で「当てはまらない」とする意見が1、2割程度あった。

・教職員に対しては、さらに保護者との連携を密に教育活動を進めてほしいという期待が高かった。

・自由記述では「地域でのあいさつ」「言葉遣い」「下校時の自転車のマナー(ノーヘル、横並び)」という点で複数の指摘があった。プラス評価では、「先生との信頼関係ができています」「服装や髪型がきちんとしている」「気持ちのいいあいさつができる」「生徒の意思が尊重された行事ができています」「話を聞く態度がよい」というものが多くあった。

Ⅲ 学習面について



- ・学習面については、家庭学習の習慣がついていないとする回答が40%と多かった。
- ・自由記述でも、「テレビやゲームの時間が多い」「宿題しかやらない」「テスト前しか勉強しない」「塾に頼っている」「予習や復習をしていかない」等の意見が多くあった。
- ・また、学校への要望として「宿題等は居残りをさせてでもやらせてほしい」「補習もやってほしい」という意見や「体験学習などを重視した勉強をもっと取り入れてほしい」という意見もあった。
- ・プラス評価では、「自主学習のペース配分表が配られていて、計画的に勉強がしやすい」「質問しやすい環境ができている」「小学校に比べて、宿題は自分でやるようになった」「学校の授業もやる気になって取り組んでいる」
- ・また、保護者は、「子どもが頑張っていることに全面的に応援したい」「一日一時間の家庭学習が守れずにいます。予習や復習がやれるよう、あきらめずに声をかけたいです」と関心も高く、非常に協力的であると感じた。

※すべてのご意見を、ここに載せることはできませんでしたが、大切に検討し、今後の教育活動に生かしていきたいと思っております。また、次回アンケートには、今回の数値が上向きになるよう、職員一同、力を合わせて努力してまいります。ご協力ありがとうございました。